



市長が語る「地域主権と都市の役割」
—連載にあたって—

指定都市市長会会長

矢田立郎(神戸市長)

中核市市長会会長

大橋建一(和歌山市長)

全国特例市市長会会長

竹内 功(鳥取市長)



指定都市市長会会長
矢田立郎(神戸市長)



中核市市長会会長
大橋建一(和歌山市長)



全国特例市市長会会長
竹内 功(鳥取市長)

現在、政府や各政党では、大都市制度に関する議論が活発化しています。このような情勢を捉え、住民に最も身近な基礎自治体であり、各圏域の中核都市である指定都市・中核市・特例市が連携し、市民本位の地方制度改革の実現を目指していきたいと考えています。

その取組の一つとして、指定都市・中核市・特例市の市長の代表が一同に会し、都市が連携して地域主権改革を積極的に推進するためのシンポジウムを10月19日(金)東京都内で開催します。

そして、シンポジウム開催までの間、この機運を醸成するために、「市長が語る『地域主権と都市の役割』」と題し、指定都市・中核市・特例市の各市長によるコラムを8月1日(水)より連載し、地域主権の牽引役として活躍する現役市長の生の声を約2カ月に渡りお届けします。

各都市は、規模や歴史・文化の違い、国や広域自治体との関係性、地域で果たす役割など、異なる特性があります。それらも踏まえながら、われわれ指定都市・中核市・特例市は自らの責任と行動により、国からの大幅な権限と財源の移譲による真に自立した地方自治の確立を目指し、その実現に向け取り組んでいます。コラム、シンポジウムを通じ、皆様が地域主権について考える契機となり、ご理解、ご賛同いただければ幸いです。

コラム、シンポジウムについてのお問い合わせ

指定都市市長会事務局 TEL 03-3591-4772

<http://www.siteitosi.jp>